

広島ガス株式会社 第160期中間報告書

平成25年4月1日▶平成25年9月30日





■ 株主の皆さんへ

平素は、当社グループの事業運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

当第2四半期における日本経済は、政府による経済対策への期待感、日本銀行の金融緩和策等を受け、円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きがみられたものの、海外景気の下振れ懸念等もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

エネルギー業界におきましては、政権交代により中断されていたエネルギー分野における制度改革に向けた議論が再開され、中長期的なエネルギーのあり方が改めて問われる中、環境性・供給安定性に優れた天然ガスに対する期待はこれまで以上に高まっております。

このような情勢のもと、当社および当社グループは、株主さま・お客さま・地域社会の皆さんから信頼され、選ばれ続ける企業グループを目指し、懸命な努力を重ねてまいりました。

ここに、当第2四半期の経営概況につきましてご報告申しあげます。

平成25年11月

代表取締役 社長執行役員

田中 勝造

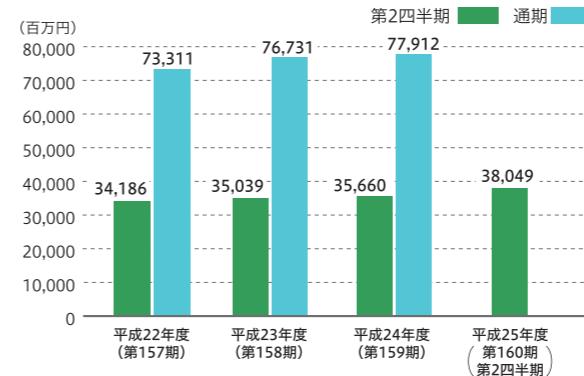


目次

ごあいさつ	1
第160期第2四半期の営業概況	2
経営の考え方と取り組み	3
TOPICS	5
四半期連結財務諸表	7
アンケート結果のご報告	9
会社の概況	10

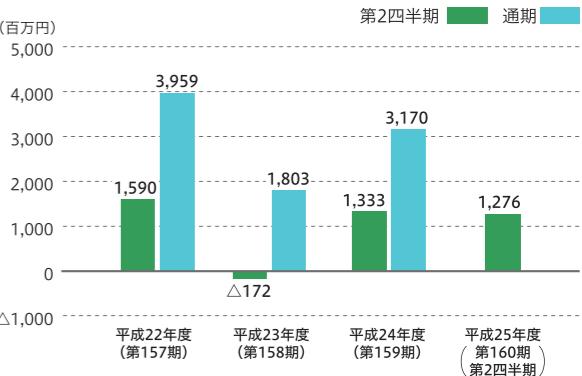
■ 第160期第2四半期の営業概況 営業実績

連結総売上高 **38,049** 百万円 前年同期比
6.7%増加



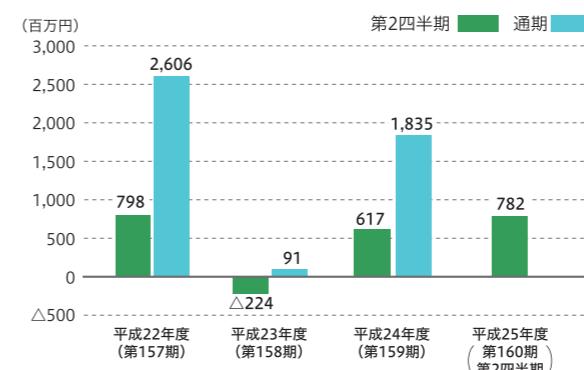
ガス事業における原料費調整制度に基づく販売単価の上昇等により、前年同期と比べ6.7%増加しました。

連結経常利益 **1,276** 百万円 前年同期比
4.3%減少



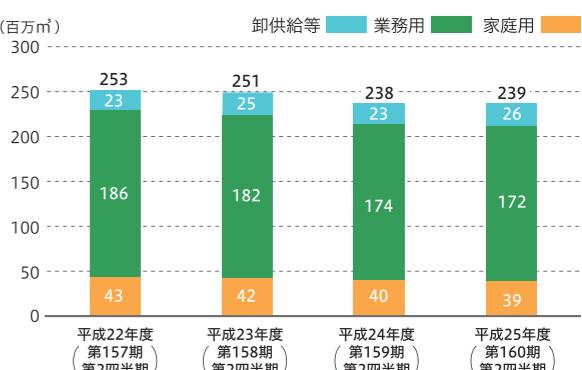
売上高の増加を上回る原材料費の増加等により、前年同期と比べ4.3%減少しました。

連結四半期純利益 **782** 百万円 前年同期比
26.7%増加



特別利益の計上および法人税等の減少により、前年同期と比べ26.7%増加しました。

都市ガス販売量



※過去のガス販売量を、45MJ/m³に換算しております。

家庭用および業務用の販売量の減少はありましたが、卸供給等の販売量の増加により、前年同期と比べ0.2%増加しました。

経営の考え方と取り組み



省エネ・省CO₂およびエネルギーセキュリティの向上

当社グループは、既存のエリア、商圈でのさらなる需要の開発と新たな商圈の拡大を推進することにより、エネルギー市場における当社グループシェアの維持拡大を図るとともに、お客さま先での省エネ・省CO₂の実現およびエネルギーセキュリティの向上に貢献する取り組みを実施しています。

現在、より多くのお客さまに都市ガスをお使いいただくため、広島県東広島市においてパイプラインの整備を進めておりますが、業務用のお客さまに加え、都市ガス供給エリアを拡張し、本年9月下旬からは東広島市的一般のお客さまに対しても都市ガスの供給を開始しました。

また、広島県呉市にある当社旧阿賀工場跡地において、再生可能エネルギーのさらなる普及に向け、「阿賀太

陽光発電所」の運用を本年10月より開始しました。加えて、広島ガスプロパン(株)においても、商業施設の屋根を借用しての太陽光発電事業の開始に向け、発電設備の建設を進めています。



阿賀太陽光発電所



環境にやさしく、安心・安全で快適な暮らしの創造



住まいがステキフェア

当社グループは、快適で便利な生活が求められ、多様化かつ高度化するお客さまのニーズに対応し、電気・熱等のマルチエネルギー供給、エネルギーの高度利用等、お客さまが望まれるサービスを提供します。

家庭用では、家庭用燃料電池「エネファーム」をはじめとする分散型発電・熱供給システムなどの省エネ機器の普及を促進しており、本年4月から9月末までの「エネファーム」の販売台数は前年同期と比べ約2倍に増加しました。また、「エネファーム」と、太陽光発電を組み合わせたW(ダブル)発電システム、さらに蓄電池・情報技術を加えたスマートエネルギーハウスの提案を通じて、最も環境にやさしいエネルギー・システムを提案します。本年6月からは、家庭用のお客さま向けのガス機器リース制度「ほっとリース」の対象を「Siセンサー・コンロ」にも

拡大するなど、今後とも魅力あるサービスと商品の提供に努めます。

業務用では、分散型発電・熱供給システムであるコージェネレーションシステム、夏場の電力ピークカットができるガス空調などを通じて省エネ、エネルギー・セキュリティの向上を提案しています。

また、平成24年度から着工しました廿日市工場の桟橋機能拡大工事につきましては、平成27年12月の完成を目指して順調に進行しており、併せて廿日市工場から広島市内に向けた高圧幹線「広島港湾幹線」の整備を進めるなど、さらなる安定供給体制を強化するための製造・供給インフラの整備を計画的に進めています。



高圧幹線工事



強靭な企業グループの構築

当社グループは、都市ガスおよびLPガスを中心としたエネルギー供給事業への経営資源の重点配置、健全な収益体质との確なガバナンスの両立、お客さまとの接点強化を基本として、グループ機能の再構築を推進して

います。また、グループ各社が連携して、グループ経営管理やコーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。



公正かつ透明で風通しの良い組織への変革

当社グループは、コンプライアンスに則った公正で透明性のある事業活動を推進するため、広島ガスグループ全従業員の企業倫理・コンプライアンス意識の効果的な向上を図り、内部統制システムのさらなる充実を図ることにより、事業活動および財務報告の適正確保に努めています。併せて、本年8月には、地元広島で個人投資家向けの会社説明会を実施するなど、IR活動を積極的に展

開し、適時・適切な情報発信を行っています。

また、地域のエネルギー供給事業者として、バドミントン部による小学校等でのバドミントン教室の開催、出張授業形式でのエネルギー教育や食育等の次世代教育など、地域活性化・発展のための活動を推進するとともに、環境教育支援などの環境啓発活動等にも積極的に取り組んでいます。



コンプライアンス講演会



グループの成長を担う人材の育成

「企業は人なり」という考え方にあるように、事業活動の主役は役職員一人ひとりです。仕事のプロとして専門知識・技能に加え、地域のエネルギー供給を担う企業グループの一員として必要な意識と感覚を兼ね備えたバランスの取れた人材を育成するため、技能講習、保安業務教育、管理者研修等に加え、定期的にコンプライアンス研修や人権啓発研修を実施しています。

TOPICS



地域社会とのかかわり



広響ホットコンサート

お客様、地域の皆さまへの日ごろの感謝の気持ちを込め、『広響ホットコンサート』を毎年9月に開催しています。



サンフレッチェ広島 「広島ガス スポンサードゲーム」

地元プロサッカーチームであるサンフレッチェ広島のサポートと地域の活力アップを目的として、毎年スポンサードゲームを開催しています。



ひろしま菓子博2013

平成25年4月19日から5月12日まで、広島では92年ぶりとなる全国菓子大博覧会が開催されました。

当社ブースでは無料調理体験コーナーや記念撮影コーナーなどを展開し、ご来場の皆さんにガスの魅力をお伝えしました。

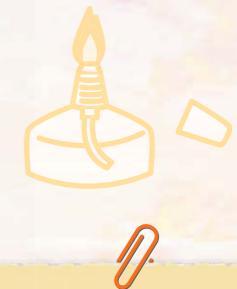


次世代教育への取り組み

「出張授業(サイエンスショー、火育教室 他)」や「スーパー・サイエンスミュージアム」などを実施し、エネルギー・環境分野に関する次世代教育に積極的に取り組んでいます。



「出張授業プログラムのご案内」



広島ガス バドミントン部

平成7年3月に創部した女子実業団チームである当社バドミントン部は、平成24年11月に開催された日本リーグ2部にて優勝し、現在、日本リーグ1部に所属しています。

バドミントン講習会などを通じて、地域の子どもたちにスポーツの楽しさを伝えています。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

平成25年9月30日現在

資産の部		
固 定 資 産		71,113
有 形 固 定 資 産		59,655
製 造 設 備		18,864
供 給 設 備		25,589
業 務 設 備		3,844
そ の 他 の 設 備		6,564
建 設 仮 勘 定		4,792
無 形 固 定 資 産		95
投 資 そ の 他 の 資 産		11,362
投 資 有 価 証 券		8,102
そ の 他 投 資		3,602
貸 倒 引 当 金	△	342
流 動 資 産		22,227
現 金 及 び 預 金		7,520
受 取 手 形 及 び 売 掛 金		6,376
商 品 及 び 製 品		828
原 材 料 及 び 貯 藏 品		5,208
そ の 他 流 動 資 産		2,581
貸 倒 引 当 金	△	287
資 産 合 計		93,341

負債の部		
固 定 負 債		31,921
社 会 債 債		8,000
長 期 借 入 金		20,686
退 職 給 付 引 当 金		2,055
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		337
ガスホルダー修繕引当金		463
資 産 除 去 債 債		102
そ の 他 固 定 負 債		275
流 動 負 債		26,806
1年以内に期限到来の固定負債		4,252
支 払 手 形 及 び 買 掛 金		5,247
短 期 借 入 金		500
未 払 法 人 税 等		635
コ マ シ ャ ル・ペー パー		9,500
そ の 他 流 動 負 債		6,671
負 債 合 計		58,728
純資産の部		
株 主 資 本		31,293
資 本 金		3,291
資 本 剰 余 金		940
利 益 剰 余 金		27,871
自 己 株 式	△	810
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額		1,639
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		1,578
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		60
少 数 株 主 持 分		1,680
純 資 産 合 計		34,613
負 債 純 資 産 合 計		93,341

四半期連結損益計算書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

科 目	金 額
売 上 高	38,049
売 上 原 価	26,007
(売 上 総 利 益)	(12,041)
供 給 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	10,990
(営 業 利 益)	(1,050)
営 業 外 収 益	514
受 取 利 息	3
受 取 配 当 金	51
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	153
C N G 販 売 収 益	112
雜 収 入	193
営 業 外 費 用	288
支 払 利 息	218
雜 支 出	70
(経 常 利 益)	(1,276)
特 別 利 益	60
固 定 資 産 売 却 益	60
特 別 損 失	13
減 損 損 失	13
(税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益)	(1,323)
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	355
法 人 税 等 調 整 額	84
(少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益)	(882)
少 数 株 主 利 益	99
四 半 期 純 利 益	782

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

営業活動によるキャッシュ・フロー	(単位:百万円)
△ 308	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,616
現金及び現金同等物の増減額	△ 469
現金及び現金同等物の期首残高	6,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,463

【ご参考】

単体営業成績の概要

単体営業成績の概要	(単位:百万円)
売 上 高	29,868
営 業 利 益	410
経 常 利 益	806
四 半 期 純 利 益	603

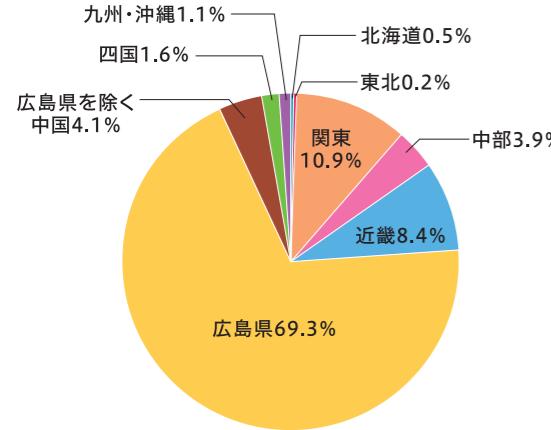


アンケート結果のご報告

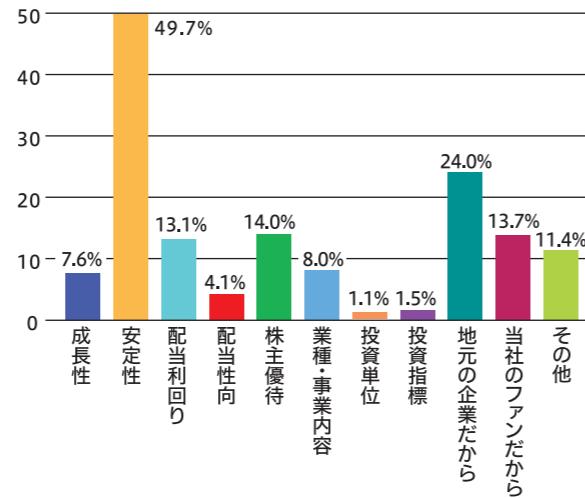
回答者数
1,145名
回答率
40.1%

当社は、株主の皆さまのご意見を伺うため、本年6月にアンケートを実施させていただきました。株主の皆さまにおかれましては、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。紙面の都合上、一部ではございますが、アンケート結果をご報告させていただきます。

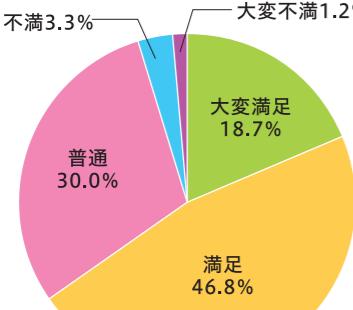
株主さまの居住地別構成



当社株式を購入する際、重視されたことは何ですか。 (複数回答可)



株主優待制度の満足度をお聞かせください。



株主さまからの声

- 積極的なPRにより、売買高が増えることを期待します。
- 株主優待と安定配当を継続できれば、株主数は増加すると思います。
- 単元株式数の引き下げに続き、この度、株主優待制度を導入いたしました。これにより、売買高および株主数の増加に一定の効果がありました。今後も、株主さまのご期待に添うべく施策を講じてまいります。

株主の皆さまよりいただいたご意見・ご要望は、今後の経営やIR活動の参考とさせていただきます。来年以降もアンケートを実施してまいりますので、ご協力くださいますようお願い申しあげます。

会社の概況

株式の状況（平成25年9月30日現在）

●発行可能株式総数	240,000,000株
●発行済株式の総数	61,995,590株
●1単元の株式の数	100株
●株主数	3,027名

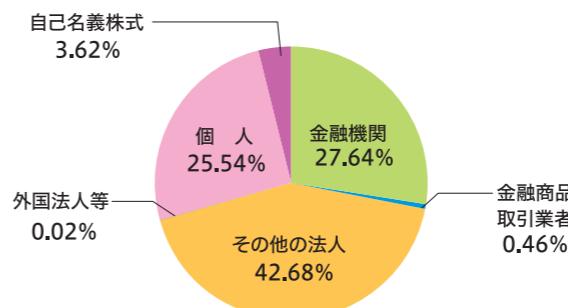
会社概要（平成25年9月30日現在）

本社所在地	広島市南区皆実町二丁目7番1号
設立	明治42年10月30日
資本金	3,291,995,816円
従業員数	692名
主要な事業内容	(1)ガス事業 (2)ガス器具の販売 (3)液化天然ガスの販売

役員（平成25年9月30日現在）

代表取締役会長	深山英樹
代表取締役 社長執行役員	田村興造
取締役 常務執行役員	中村治
取締役 常務執行役員	和田博喜
取締役 常務執行役員	山本宏之
取締役 執行役員	松藤研介
取締役 執行役員	宇野誠
取締役	角廣勲
取締役	出田善藏
取締役	松村秀雄
取締役	椋田昌夫
常勤監査役	桂秀昭
常勤監査役	伊藤博之
常勤監査役	武井康年
常勤監査役	田中優次
執行役員	藤森敏彦
執行役員	坂茂雄
執行役員	蓼原泰藏
執行役員	垣井和行
執行役員	谷村武志
執行役員	久保賢司
執行役員	小原健太郎
執行役員	中原智彦

所有者別分布状況（平成25年9月30日現在）



株主優待について

当社は、平成25年3月末現在の当社株主名簿に記載または記録された500株(5単元)以上の株式を保有されている株主さまを対象として、株主優待品をご送付させていただきました。

これからも、優待内容が株主の皆さんにとりましてさらに魅力あるものとなるよう、努めてまいります。

《平成25年 株主優待品》



詳しくは当社ホームページをご覧ください。

広島ガス 株主優待

検索

*500株以上2,000株未満保有の株主さま ➔ 全国共通図書カード(1,000円分)

*2,000株以上保有の株主さま ➔ 下記の広島県特産品より1点(5,000円相当)

千福 大吟醸 王者 (三宅本店)	醤油詰合せ (川中醤油)	広島牛ステーキセット (肉処 勝伊)	せら高原の特別栽培米 (オクモト)
あなご竹輪詰合せ (出野水産)	お好み焼バラエティセット (みっちゃん)	熊野化粧筆 (タウハウス)	ボールペン (セーラー万年筆)

株主メモ

- 事 業 年 度 每年4月1日から翌年3月31日まで
- 基 準 日 定時株主総会 3月31日
剩余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特 別 口 座 の 同上
口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)
- 公 告 方 法 日本経済新聞、中国新聞に掲載する
- 单 元 株 式 数 100株
- 証 券 コ ード 9535

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



広島市南区皆実町二丁目7番1号
<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>



表紙写真／聖湖(広島県山県郡北広島町)